

## 令和8年度当初予算に係る新規及び主要事業説明資料一覧表

課名	事業名	予算額	頁
会計管財課	☆ 電子契約システム導入事業	80	3
行政課	☆ 庁舎空調設備改修事業	356,899	4
協働安全課	☆ 犯罪被害者支援事業	300	5
	五条川小学校災害用下水道直結型マンホールトイレ設置事業	8,173	6
	☆ 住民投票条例検討事業	1,714	7
	地域力活性化支援事業	4,663	8
市民窓口課	☆ 福祉医療システム改修事業	11,921	10
環境政策課	☆ 自然生態園開園30周年記念事業	733	11
	五条川桜並木保全事業	14,095	12
福祉課	☆ 障がい福祉計画及び障がい児福祉計画策定事業	969	13
長寿介護課	第10期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定事業	2,848	14
健康課	☆ 25歳・35歳節目歯科健康診査事業	845	15
	☆ 高用量インフルエンザワクチン接種事業	16,624	16
	☆ RSウイルスワクチン接種事業	12,187	17
こども家庭課	五条川小学校区統合保育園整備事業	1,144,821	18
	☆ 乳児等通園支援事業	36,867	20
商工農政課	ブランド野菜振興事業	255	22
	地域産業活性化支援事業	6,036	23
	桜まつり事業	26,398	25
	友好交流バス事業	478	26
都市整備課	☆ スマートインターチェンジ整備事業	190,300	28
	石仏公園整備事業	435,444	30
維持管理課	橋梁長寿命化修繕事業	8,008	32
上下水道課	水道料金（基本料金半額）免除事業	86,307	33
	☆ 衛星を活用した漏水調査業務	1,982	34
	基幹管路耐震化事業	131,816	36
	第4期配水管整備事業	66,967	37
	☆ スtockマネジメント基本計画策定事業	19,932	39
	☆ 管路施設耐震化事業	18,458	40
	五条川右岸公共下水道建設事業	769,503	41
学校教育課	第2期教育振興基本計画策定事業	285	43
	☆ 五条川小学校本館大規模改修事業	14,047	44
	☆ 岩倉東小学校北館・南館大規模改修事業	16,984	45
	水泳指導支援委託事業	18,750	46
	学校給食費支援事業	32,240	48
	☆ 学校給食応援事業	2,334	49
学校教育課・生涯学習課	部活動地域連携・地域展開推進事業	9,733	50

令和8年度当初予算に係る新規及び主要事業説明資料一覧表

課名	事業名	予算額	頁
生涯学習課	☆ 史跡公園開園30周年記念事業	770	52
	☆ 石仏公園内屋外スポーツ施設スマートロック整備事業	1,436	54

計 39事業

注：☆印は新規事業(令和7年度当初予算時比較)

令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	電子契約システム導入事業			担当課	会計管財課
事業実施期間	令和8年度～年度	款	2	項	1	目	13
令和7年度		令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
千円	千円	千円			千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
80千円							80

○事業の目的・効果

電子契約システムを導入することで、契約に係る業務の効率化及びペーパーレス化によるコスト削減を図ることを目的とする。契約書の印刷、製本、押印、印紙貼付、郵送等に係る発注者と受注者双方のコストを削減できるうえ、契約締結までの手続を迅速化し、契約書の保管、管理もシステム上で行うことで、業務効率の向上に資するもの。

○事業の内容

電子契約は、従来の紙と印鑑による契約書に代わり、契約締結実務と締結済みの契約書の保管、管理を電子的に行う仕組みであり、発注者がシステムにアップロードした契約書に対して、受注者が同意し、電子署名を付与することで契約が成立する。発注者がシステムを導入することで、受注者は、インターネット環境とメールアドレスのみで契約手続を行うことが可能となる。

令和8年度から電子契約システムを導入し、L G W A N環境を利用してオンライン上での契約締結を可能とするもの。

○積算根拠

【歳出】

電子契約システム使用料 80千円  
 $6,600 \text{円} \times 12 \text{月} = 79,200 \text{円}$

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	庁舎空調設備改修事業			担当課	行政課
事業実施期間	令和8年度～9年度	款	2	項	1	目	7
令和7年度		令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
千円	千円	千円			千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他
356,899千円							356,899

## ○事業の目的・効果

岩倉市庁舎は、平成14年2月28日のしゅん工から20年以上が経過し、熱源機器の経年劣化による能力低下が顕著となっている。昨今の猛暑の影響もあり、夏季における室温上昇が喫緊の課題となっている。

これに対し、令和4年度に策定した「岩倉市庁舎熱源更新基本計画」に基づき、空調設備を計画的に更新することで、庁舎環境の向上と行政サービスの安定的な維持を図るもの。

## ○事業の内容

### 1 更新概要（予定）

#### (1) 地下1～2階系統

既存の配管等を生かしつつ、大型の二重効用冷温水発生機（100RT<sup>※</sup>）1基を、小型の二重効用冷温水発生機（50RT<sup>※</sup>）2台へ更新する。これにより、負荷に応じた台数制御運転による効率化と、故障時の代替稼働（冗長性確保）を可能とする。

#### (2) 3～8階系統

既存のコージェネレーションシステム及び氷蓄熱を利用した空冷ヒートポンプチラー方式によるセントラル空調方式を廃止し、個別制御が可能な都市ガス焼きガスヒートポンプエアコン（GHP）ビルマルチ方式へ変更する。

### 2 スケジュール（予定）

令和8年度 実施設計、改修工事（設計施工一括発注方式）

令和9年度 改修工事（継続費）

※RT（冷凍トン：Refrigeration Ton） 冷凍能力を表す単位。1RTは0℃の水1トン、24時間で0℃の氷にするために取り除くべき熱量

## ○積算根拠

### 【歳出】

庁舎空調設備改修工事 356,899千円

庁舎空調設備改修工事 643,181,000円（令和8年度356,898,300円）

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	犯罪被害者支援事業			担当課	協働安全課
事業実施期間	令和8年度～年度	款	2	項	1	目	9
令和7年度		令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
千円	千円	千円			千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他
300千円							300

## ○事業の目的・効果

犯罪行為により不慮の死を遂げた方の遺族、重症病を負った方、障害が残った方は、犯罪被害直後において心身の不調や仕事の継続に困難をきたしたり、生計維持者を失った場合には収入が途絶えたりし、経済的に困窮する状況にある。

これら犯罪被害者等の犯罪被害等を早期に軽減するとともに、犯罪被害者等が再び平穏な生活を送ることができるよう、犯罪被害者等支援金（遺族支援金、重症病支援金、精神療養支援金）の支給を行うもの。

## ○事業の内容

- 1 遺族支援金  
市内に住所を有する犯罪被害者の遺族に対し、30万円を支給する
- 2 重症病支援金  
犯罪被害を原因に重症病を負った市内に住所を有する犯罪被害者に対し、10万円を支給する。
- 3 精神療養支援金  
犯罪被害を原因に精神疾患を負った市内に住所を有する犯罪被害者に対し、2万5千円を支給する。

## ○積算根拠

### 【歳出】

犯罪被害者遺族支援金 300千円  
遺族支援金等 300,000円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	五条川小学校災害用下水道直結型マンホールトイレ設置事業			担当課	協働安全課
事業実施期間	令和7年度～8年度	款	2	項	1	目	15
令和7年度		令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
704千円	514千円	千円			千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
8,173千円					8,100		73

## ○事業の目的・効果

避難所に指定している五条川小学校が令和8年度に公共下水道の供用開始となることに伴い、避難者の生活の質の向上を図るため、下水道直結型マンホールトイレの設置を行うもの。災害時において清潔・安全に利用できるトイレを確保することで、避難所生活の質が担保できる。

## ○事業の内容

令和7年度に五条川小学校の災害用下水道直結型マンホールトイレ設置工事設計委託を行った。その設計を基に、避難所である五条川小学校の体育館付近に5口の防災貯留型下水道直結型マンホールトイレ設置工事を行うもの。洋式トイレを設置するスペースを確保するとともに、貯留型であるため、災害時に下水道管路の状態に関わらず一定期間は使用が可能となる。

## ○積算根拠

### 【歳出】

災害用下水道直結型マンホールトイレ設置工事 8,173千円  
8,173,000円

### 【歳入】

総務債 五条川小学校災害用下水道直結型マンホールトイレ設置事業 8,100千円  
8,173,000円×100%≒8,100,000円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	住民投票条例検討事業			担当課	協働安全課
事業実施期間	令和8年度～年度	款	2	項	1	目	17
令和7年度		令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
千円	千円	千円			千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他
1,714千円							1,714

## ○事業の目的・効果

岩倉市自治基本条例（平成25年施行）の規定に基づき、平成26年度から27年度にかけて、市民参加条例（平成28年施行）とともに検討した「住民投票条例（案）」については制定に至っておらず、今後の方向性を示していく必要がある。

内容の検討を終えてから10年ほど経過しているため、改めて市民の意見を聴取することとし、その手法として市民参加条例に位置付ける市民討議会を開催する。

その上で、自治基本条例に規定する住民投票のあり方を再検討するもの。

## ○事業の内容

市民討議会は、無作為抽出で選ばれた市民にまちづくりの課題などについて話し合ってもらい、そこで出された意見や提言をまとめ、行政の施策に活かしていくもの。

なお、基礎知識を持たない市民も討議に公平に参加することができるよう、討議の前に専門家や行政担当から討議の基礎となる情報を提供する。討議は、グループにより行い、個人の意見ではなくグループの意見としてまとめ、発表する。

## ○積算根拠

### 【歳出】

市民討議会参加者等謝礼 200千円

5,000円×40人=200,000円

消耗品費 35千円

郵送費 170千円

送付用 85円×2,000件=170,000円

市民討議会開催支援業務委託料 1,309千円

市民討議会支援業務 1,308,960円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	地域力活性化支援事業			担当課	協働安全課	
事業実施期間	令和4年度～年度	款	2	項	1	目	17	
令和7年度		令和6年度			令和5年度			
予算額	決算見込額	決算額			決算額			
1,760千円	1,760千円	1,760千円			2,739千円			
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)							
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他	一般財源
4,663千円				435				4,228

## ○事業の目的・効果

持続性の高い魅力ある地域づくりに向けて、令和4年度から小学校区ごとに「未来寄合」を開催し、地域課題の解決と行政区の負担軽減につながる新たな地域自治のあり方について、地域住民とともに検討を行っている。

令和6年度から7年度にかけては、岩倉北小学校区において、地域住民による小さな実践に挑戦するとともに、それを踏まえて持続可能な地域の「仕組み」や「組織」のあり方を検討するワークショップ「未来寄合トライアル」を実施した。

これらを踏まえ、岩倉北小学校区での取組を継続して支える伴走支援型ワークショップを実施するとともに、岩倉北小学校区での取組を他の小学校区へ広げるため、新たに2つの小学校区でワークショップ等を実施する。これにより、地域住民が地域課題を自分事として捉え、地域への関心や参加の広がりを図るもの。

## ○事業の内容

### 1 伴走支援型ワークショップ（岩倉北小学校区）

令和6年度から7年度に実施した「未来寄合トライアル」の取組を継続して支える伴走支援型ワークショップを実施し、このワークショップを通じて、地域の実情に即した取り組みをとともに考え、実践することを目指す。

### 2 市民アンケート（2小学校区）

持続可能な地域の「仕組み」や「組織」のあり方を検討するための基礎資料として、2つの小学校区の地域住民を対象にアンケートを実施する。

### 3 ワorkshop「未来寄合トライアル」（2小学校区）

アンケートを実施した2つの小学校区において、持続可能な地域の「仕組み」や「組織」のあり方を検討するワークショップを実施する。このワークショップでは、地域住民が支え合いながら地域の課題を自ら解決できる仕組みづくりを目指す。

## ○積算根拠

### 【歳出】

消耗品費 5千円

郵送料 368千円

アンケート送付用 164円×790件×2小学校区=259,120円

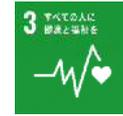
アンケート返信用 136円×400件×2小学校区=108,800円

地域力活性化支援業務委託料 4,290 千円

【歳入】

ふるさとづくり基金繰入金 435 千円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	福祉医療システム改修事業			担当課	市民窓口課
事業実施期間	令和8年度	款	3	項	1	目	5
令和7年度		令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
千円	千円	千円			千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
11,921千円	5,692						6,229

## ○事業の目的・効果

令和9年4月から愛知県内の医療機関等において、診療報酬明細書（レセプト）が単独レセプト方式から併用レセプト方式に切り替わる。

このことにより、保険者が福祉医療の情報を取得することができるようになり、医療費請求等の高効率化、受給者の利便性向上と事務負担の軽減の実現を図ることができる。

さらには、将来的に福祉医療の全国現物給付化を目指すもの。

また、併用レセプト方式に切り替わることにより受給者証も変更となるが、新たにマイナンバーカード（マイナ保険証）を受給者証として利用できるようになる仕組み（PMH）を同時に導入することにより、受給者のさらなる利便性向上と福祉医療におけるデジタル化の推進を図るもの。

## ○事業の内容

福祉医療システムの必要な改修を行うもの。

※PMH（Public Medical Hub）

公的医療証のオンライン資格確認等システムを活用した電子化の仕組み。マイナンバーカードを用いて、福祉医療制度の受給資格情報をオンラインで確認できるようにするシステム。

## ○積算根拠

### 【歳出】

福祉医療システム改修業務委託料 11,921千円

全国現物給付化対応分 535,700円

PMH対応分 11,385,000円

### 【歳入】

地域診療情報連携推進費補助金 5,692千円

11,385,000円×1/2≒5,692,000円

令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	自然生態園開園30周年記念事業			担当課	環境政策課	
事業実施期間	令和8年度	款	4	項	1	目	6	
令和7年度		令和6年度			令和5年度			
予算額	決算見込額	決算額			決算額			
千円	千円	千円			千円			
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)							
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他	一般財源
733千円		57						676

○事業の目的・効果

自然との共生を目指すシンボルとして、この地域に古くからある身近な自然環境を保全又は復元し、市民の自然生態観察及び憩いの場として利用に供するため設置された自然生態園が、開園から30年を迎えることを記念し、参加者に自然生態園の意義や歴史を語り、愛着を持ってもらえる体験型のイベントを開催し、生物多様性の重要性について理解を深める機会を創出する。

○事業の内容

- 「生態園の歴史+園内散策&テーブルお絵描き」イベント  
開園当初から勤務しているスタッフによる「これまでの生態園について」のお話し会を行い、その後、園内散策をしながら開園時からの経過を説明する。続いて、新たに導入するワークハウス用のテーブル天板(3枚)に参加者が自由にお絵描きをし、専門事業者による表面塗装や脚の取付を行ったのち、ワークハウスに設置する。
- 「シジュウカラの巣箱づくり」イベント  
岩倉市建築災害協力会の協力のもと、自然生態園を訪れるシジュウカラの巣箱をイベント参加者とともに製作し、園内の樹木に設置する。
- 30周年記念絵画の展示・ポストカードの配布  
岩倉市出身画家による生態園から着想を得た記念絵画(寄贈品)を展示し、同デザインのポストカードを製作し、年間のイベントを通じて配布する。

○積算根拠

【歳出】

- 消耗品費 57千円
  - シジュウカラの巣箱づくり用消耗品(金槌、ビニール線) 10,340円
  - 記念絵画ネームプレート(設置込み) 46,200円
- 印刷製本費 18千円
  - 自然生態園開園30周年記念ポストカード 17.05円×500枚×2種=17,050円
- 自然生態園30周年ワークハウステーブルお絵描きイベント委託料 658千円

【歳入】

- あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金 57千円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	五条川桜並木保全事業			担当課	環境政策課	
事業実施期間	年度～ 年度	款	4	項	1	目	6	
令和7年度		令和6年度			令和5年度			
予算額	決算見込額	決算額			決算額			
24,656千円	24,656千円	14,019千円			12,950千円			
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)							
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他	一般財源
14,095千円				8,029				6,066

## ○事業の目的・効果

本市の貴重な資源であり、市民の誇りでもある五条川の桜並木を岩倉五条川桜並木保存会と協力し、適切に管理するもの。

## ○事業の内容

日本の「さくら名所100選」に選ばれている五条川の桜を守るため、枯枝や腐朽枝の剪定、倒木の処理や伐採に加え、特定外来生物であるクビアカツヤカミキリによる被害を受けた樹木への対策を行うとともに、桜の植え替えを実施する。

## ○積算根拠

### 【歳出】

桜維持管理委託料 14,095千円

桜伐採（倒木・落木等緊急対応用：15本） 5,943,960円

老朽化等により倒木する恐れや落木した桜の伐採・伐根をするもの。

桜伐採（クビアカツヤカミキリ対策用：10本） 4,216,960円

クビアカツヤカミキリによる木内部の食害により再生不能で倒木の恐れがある桜の伐採・伐根をするもの。

桜植栽（10本） 1,933,580円

樹木医の意見を参考にした上で、現地確認を行い、ジンダイアケボノ10本分の植え替えを実施するもの。

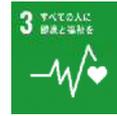
枯枝・支障枝剪定 2,000,000円

適宜枯枝や道路・民地等への高所の支障枝などの剪定を実施するもの。

### 【歳入】

さくら基金繰入金 8,029千円

令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	障がい福祉計画及び障がい児福祉計画策定事業			担当課	福祉課
事業実施期間	令和8年度	款	3	項	1	目	6
令和7年度		令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
千円	千円	千円			千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
969千円							969

○事業の目的・効果

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法に基づき策定が義務付けられている「障がい福祉計画」及び「障がい児福祉計画」について、前計画の見直しを行い作成するもの。これらの計画は、障害福祉サービス等の提供体制の確保に係る目標及び必要なサービス等の見込量を定めるもの。

○事業の内容

岩倉市障がい福祉計画（令和9年度～令和11年度 第8期計画）及び障がい児福祉計画（令和9年度～令和11年度 第4期計画）を一体的に策定する。

委託業務内容

1 基礎数値の推計

- (1) 障害福祉サービス等の実績値の分析
- (2) 目標指標及び障害福祉サービス等の見込量の推計

○積算根拠

【歳出】

地域自立支援協議会委員報酬 240千円  
 会長（識見者） 20,000円×1人×3回=60,000円  
 委員 5,000円×12人×3回=180,000円  
 障害者計画推進委員会委員報酬 285千円  
 委員（識見者） 20,000円×1人×3回=60,000円  
 委員 5,000円×15人×3回=225,000円  
 障がい福祉計画及び障がい児福祉計画策定支援業務委託料 444千円  
 障がい福祉計画及び障がい児福祉計画策定支援業務 一式 443,300円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	第10期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定事業			担当課	長寿介護課	
事業実施期間	令和7年度～8年度	款	3	項	1	目	3	
令和7年度		令和6年度			令和5年度			
予算額	決算見込額	決算額			決算額			
2,342千円	2,342千円	千円			千円			
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)							
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他	一般財源
2,848千円				238				2,610

## ○事業の目的・効果

老人福祉法第20条の8に基づく「市町村老人福祉計画」、介護保険法第117条の規定に基づく「市町村介護保険事業計画」及び共生社会の実現を推進するための認知症基本法第13条に基づく「市町村認知症施策推進計画」を一体的なものとして策定する。計画策定に当たり、調査・分析及び計画策定業務を委託し、本市の実情に合わせた介護保険事業、高齢者福祉施策及び認知症施策の目標設定により、円滑な介護保険事業運営と豊かな高齢社会の実現を目指す。

また、第9期計画（令和6年度～令和8年度）の検証を行い、第10期計画（令和9年度～令和11年度）を策定することにより、目標達成を目指すとともに、計画の円滑な推進と福祉の向上を図る。

## ○事業の内容

第9期計画の検証と令和7年度実施のアンケート調査等からの基礎資料をもとに、岩倉市高齢者保健福祉計画等推進委員会に諮りながら、令和9年度から令和11年度を計画期間とする第10期計画を策定する。

## ○積算根拠

### 【歳出】

高齢者保健福祉計画等推進委員会委員報酬 560千円

委員長（識見者） 20,000円×1人×7回＝140,000円

委員 5,000円×12人×7回＝420,000円

高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定業務委託料 2,288千円

第10期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定業務 2,288,000円

（債務負担行為議決済）

### 【歳入】

ふるさとづくり基金繰入金 238千円

令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	25歳・35歳節目歯科健康 診査事業			担当課	健康課
事業実施期間	令和8年度～年度	款	4	項	1	目	2
令和7年度		令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
千円	千円	千円			千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
845千円	845						

○事業の目的・効果

健康いわくら21（第3次）における健康課題として、歯周炎を有する人の割合が他市町村と比較して高い状況にある。

歯周病は40歳から急激に増加することから、若い世代から口腔のセルフケアや定期的な歯科健康診査の受診を啓発していくことが不可欠である。そのため、節目個別歯科健康診査の対象に25歳・35歳を追加し、定期的な歯科健康診査の受診を啓発することで、歯周疾患の罹患率の低下を目指す。

○事業の内容

- 1 対象年齢 25歳、35歳（現行 20・30・40・50・60・65・70歳）
- 2 実施内容 市内委託医療機関（尾北歯科医師会 岩倉地区会）における個別歯科健康診査
  - ・歯牙診査
  - ・歯周診査
  - ・相談
  - ・指導

○積算根拠

【歳出】

- 消耗品費 10千円
- ラベル、受診券用色上質紙等 9,273円
- 印刷製本費 12千円
- 節目歯科健康診査票 1,980円×6冊=11,880円
- 通信運搬費 116千円
- 96円×1,200件=115,200円
- 歯科健康診査委託料 707千円
- 5,050円×140件=707,000円

【歳入】

- 医療施設運営費等補助金 845千円
- 845,000円×10/10=845,000円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	高用量インフルエンザワクチン接種事業			担当課	健康課
事業実施期間	令和8年度～年度	款	4	項	1	目	2
令和7年度		令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
千円	千円	千円			千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
16,624千円				622			16,002

## ○事業の目的・効果

予防接種法のB類疾病に位置づけられているインフルエンザについて、高齢者の重症化防止を強化するため、新たに定期接種の対象となった高用量インフルエンザワクチンの接種を実施するもの。従来のワクチンより抗原量が多い高用量ワクチンを導入することで、特に重症化リスクが高いとされる75歳以上の市民の発症及び入院を予防し、健康寿命の延伸を図る。

## ○事業の内容

- 1 実施時期 令和8年10月1日以降
- 2 対象 75歳以上の者
- 3 接種場所 医療機関による個別接種
- 4 使用ワクチン 高用量インフルエンザワクチン

## ○積算根拠

### 【歳出】

- 予防接種委託料 16,576千円
- 高用量インフルエンザワクチン（自己負担あり） 6,720円×1,900人=12,768,000円
- 高用量インフルエンザワクチン（全額免除） 9,520円×400人=3,808,000円
- 予防接種助成金 48千円
- 高用量インフルエンザワクチン 9,520円×5人=47,600円

### 【歳入】

- ふるさとづくり基金繰入金 622千円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	RSウイルスワクチン接種事業			担当課	健康課
事業実施期間	令和8年度～年度	款	4	項	1	目	2
令和7年度		令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
千円	千円	千円			千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
12,187千円				459			11,728

## ○事業の目的・効果

RSウイルス感染症が予防接種法のA類疾病に位置づけられ、ワクチン接種が定期接種化されることに伴い、対象妊婦に予防接種を実施する。これにより、新生児のRSウイルスによる感染症の予防を図るもの。

## ○事業の内容

- 1 実施時期 令和8年4月1日以降
- 2 対象 妊娠28週から37週に至るまでの者
- 3 接種場所 医療機関による個別接種
- 4 使用ワクチン 組換えRSウイルスワクチン(ただし、妊婦への能動免疫により出生した児のRSウイルス感染の予防に寄与するワクチンに限る。)

## ○積算根拠

### 【歳出】

- 予防接種委託料 12,036千円  
RSウイルス母子免疫ワクチン 30,090円×400人=12,036,000円
- 予防接種助成金 151千円  
RSウイルス母子免疫ワクチン 30,090円×5人=150,450円

### 【歳入】

- ふるさとづくり基金繰入金 459千円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	五条川小学校区統合保育園整備事業			担当課	こども家庭課
事業実施期間	令和3年度～8年度	款	3	項	2	目	2
令和7年度		令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
139,528千円	110,798千円	157,402千円			153,917千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他
1,144,821千円				54,755	1,069,200	5,500	15,366

## ○事業の目的・効果

公共施設再配置計画及び公立保育園適正配置方針に沿って、北部保育園、仙奈保育園及びあゆみの家を統合した施設を五条川小学校区内に整備することで、保育環境の向上を図る。

## ○事業の内容

令和9年4月の開園に向け、令和7年度から着手した建設工事を引き続き実施する。

### 【スケジュール】

- 令和3年度 候補地域の選定
- 令和4年度 用地交渉、基本構想を策定（岩倉市五条川小学校区統合保育園検討委員会）
- 令和5年度 用地取得、基本設計
- 令和6年度 遺跡発掘調査、実施設計、水路移設工事設計、水路移設工事
- 令和7年度 遺跡発掘調査、実施設計（継続費）、資材価格調査、用地造成工事  
建設工事
- 令和8年度 建設工事（継続費）、しゅん工

## ○積算根拠

### 【歳出】

- 建築確認申請等手数料 573千円
- 五条川小学校区統合保育園建設工事監理業務委託料 13,577千円  
13,794,000円（令和8年度13,577,000円）
- 情報ネットワーク設定委託料 555千円
- 備品移設業務委託料 77千円
- 五条川小学校区統合保育園建設工事 1,118,062千円  
1,134,100,000円（令和8年度1,118,062,000円）
- 備品購入費 11,977千円

### 【歳入】

- 森林環境譲与税 5,500千円
- 公共施設整備基金繰入金 30,000千円
- 森林環境譲与税基金繰入金 24,755千円

民生債 五条川小学校区統合保育園整備事業 1,069,200 千円

施設整備事業（一般財源化）債 507,500 千円

$(1,118,062,000 \text{ 円} + 13,577,000 \text{ 円}) \times 0.89705 \times 1/2 \approx 507,500,000 \text{ 円}$ （起債対象事業費）  
507,500,000 円（起債対象事業費） $\times 100\% = 507,500,000 \text{ 円}$

公共施設等適正管理推進事業債 561,700 千円

$(1,118,062,000 \text{ 円} + 13,577,000 \text{ 円} - 507,500,000 \text{ 円}) = 624,139,000 \text{ 円}$ （起債対象事業費）  
624,139,000 円（起債対象事業費） $\times 90\% \approx 561,700,000 \text{ 円}$

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	乳児等通園支援事業			担当課	こども家庭課	
事業実施期間	令和7年度～年度	款	3	項	2	目	2	
令和7年度		令和6年度			令和5年度			
予算額	決算見込額	決算額			決算額			
10,272千円	10,272千円	千円			千円			
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)							
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他	一般財源
36,867千円	27,649	4,608						4,610

## ○事業の目的・効果

乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）は、こどもの成長の観点から、「全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備する」ことを目的に、家庭とは異なる経験や地域に初めて出て行って家族以外の人と関わる機会を提供することで、ものや人への興味や関心が広がり、社会情緒的な発達を支えるなど成長発達に資するもの。

## ○事業の内容

市が定める認可基準を満たした施設において、以下のとおりこどもを通わせることができるもの。

- 1 対象 保育所等に通っていない0歳6か月～満3歳未満のこども
- 2 利用条件 保育要件の有無にかかわらず利用可能
- 3 利用時間 月10時間まで

## ○積算根拠

### 【歳出】

乳児等通園支援給付費 36,867千円

#### 基本分

1,700円（0歳児単価）×10時間/月×636人（年間延べ利用人数）＝10,812,000円

1,400円（1歳児単価）×10時間/月×768人（年間延べ利用人数）＝10,752,000円

1,400円（2歳児単価）×10時間/月×660人（年間延べ利用人数）＝9,240,000円

#### 加算分

障害児等加算 1,296,000円

初回対応加算 256,700円

保護者支援面談加算 2,889,600円

賃借料加算 816,000円

#### 減免分

住民税非課税世帯等減免分 804,000円

### 【歳入】

乳児等のための支援給付交付金（国費） 27,649千円

36,866,300円×3/4＝27,649,000円

乳児等支援給付費負担金（県費） 4,608 千円

$36,866,300 \text{ 円} \times 1/8 \doteq 4,608,000 \text{ 円}$

## 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	ブランド野菜振興事業			担当課	商工農政課
事業実施期間	平成20年度～	款	5	項	1	目	3
令和7年度		令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
105千円	105千円	105千円			105千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他
255千円							255

### ○事業の目的・効果

本市の野菜生産は、カリフラワー、ねぎ、白菜が主な作物であり、新たな野菜の普及のために、本市のブランド野菜として「ちっちゃい菜」を平成20年4月に選定し、市内の農家と協力して啓発活動を続けている。

令和5年度からは、漬物会社と協力して「ちっちゃい菜のしょうゆ漬け」を製造し、市内のイベント等で販売し、ちっちゃい菜のさらなる消費拡大とPRを図っている。

### ○事業の内容

令和8年度中に漬物会社が自社ブランドとして「ちっちゃい菜」を使用した漬物を新規販売する予定であることから、その商品名の命名とパッケージデザインを漬物会社に委託するもの。

### ○積算根拠

#### 【歳出】

- ブランド野菜振興事業委託料 255千円
- ブランド野菜振興事業 105,000円
- ちっちゃい菜（漬物）振興事業委託料 149,200円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	地域産業活性化支援事業			担当課	商工農政課	
事業実施期間	平成27年度～年度	款	6	項	1	目	2	
令和7年度		令和6年度			令和5年度			
予算額	決算見込額	決算額			決算額			
6,097千円	6,097千円	9,876千円			4,840千円			
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)							
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他	一般財源
6,036千円	1,250				651			4,135

## ○事業の目的・効果

中小企業・小規模企業を中心とした地元企業の支援を行うとともに、地域産業の活性化と発展に寄与するため、市・商工会・金融機関等が連携して、事業者の相談機会の確保と起業を含めた支援機能の強化を図ることを目的とする。

## ○事業の内容

### 1 ビジネスサポートセンターの運営支援

平成29年2月に岩倉市商工会内に開設した「ビジネスサポートセンター」への運営支援を通し、以下のとおり事業者への支援強化を図る。

- (1) 販路開拓
- (2) 人材確保
- (3) BCP策定等
- (4) 新商品開発
- (5) 創業支援（令和8年度から）

### 2 岩倉市地域産業活性化推進協議会の運営

まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づけた、市、商工会、市内金融機関等を構成メンバーとする「岩倉市地域産業活性化推進協議会」で情報共有や意見交換をしながら、地域産業活性化に資する施策を包括的に実施する。

### 3 車座会議の開催

岩倉市中小企業・小規模企業振興基本条例の推進に向けて、事業者や関係団体等との意見交換の場として車座会議を開催する。

## ○積算根拠

### 【歳出】

講師謝礼 20千円

車座会議（岩倉市中小企業・小規模企業振興基本条例）謝礼 20,000円×1回=20,000円

消耗品費 16千円

地域産業活性化推進協議会負担金 2,000千円

ビジネスサポートセンター運営事業費補助金 4,000千円

（週3日 午後1時～4時、1枠当たり1時間、予約制）

人件費及び研修費 1,500,000円

がんばる中小企業等応援補助金 2,500,000円

- ・販路拡大のための見本市等への出展料及びE Cサイト活用、HPの新設・改修費用の一部  
…補助限度額 10万円（補助率 1/2）
- ・人材確保のための合同企業説明会への出展料の一部…補助限度額 10万円（補助率 1/2）
- ・BCP（事業継続計画）策定にかかるコンサルティング費及びBCPに基づく対策費の一部  
…補助限度額 10万円（補助率 1/2）
- ・新商品、新サービス開発にかかる費用の一部…補助限度額 10万円（補助率 1/2）  
新商品開発のうちふるさと納税返礼品に関するものは、補助限度額 20万円（補助率 1/2）
- ・創業するための内外装工事や備品等にかかる費用の一部…補助限度額 10万円（補助率 1/2）

**【歳入】**

地方公共団体による小規模事業者支援推進事業費補助金 1,250千円

2,500,000円（補助対象事業費）×1/2=1,250,000円

ふるさとづくり基金繰入金 651千円

令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	桜まつり事業			担当課	商工農政課
事業実施期間	年度～ 年度	款	6	項	1	目	4
令和7年度		令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
26,398千円	24,747千円	20,693千円			4,478千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
26,398千円				3,207			23,191

○事業の目的・効果

市民や観光客が市民の誇りである岩倉五条川の桜並木を安心安全に楽しむ機会を提供するとともに、市内の商業振興を図り、伝統的文化と風景の維持承継を行うもの。

○事業の内容

日本の「さくら名所100選」に選ばれている五条川の桜を市民に親しんでもらうとともに、商工振興につなげる。新型コロナウイルス感染症の影響で中止していたが、令和6年度から従来の内容を一部変更して5年ぶりに開催した。

令和8年度は、令和7年度の内容を基本としつつ、夢さくら公園に子ども向けのイベントの実施や、飲食店等の出店により、北部にファミリー層の誘客を図るなど、内容の改善を行う。これらの取り組みを通じて、引き続き市内の商業振興や伝統的文化と風景の維持承継ができるよう努めていく。

○積算根拠

【歳出】

桜まつり委託料 26,398千円

本部費 15,815千円

- ・設備費（桜ライトアップ、テント机リース代等） 13,904,000円
- ・装飾費（岩倉駅・会場装飾、案内看板等） 1,400,000円
- ・その他費用（消耗品、雑費等） 511,000円

行事費 2,096千円

- ・特別催事（のんぼり洗い、ステージイベント音響設備・司会者代等） 1,170,000円
- ・ウィンドー、名産品販売 926,000円

保全事業 11,912千円

- ・警備費（岩倉駅周辺、各橋警備等） 7,983,000円
- ・復旧整備費（八剣憩いの広場整地費等） 666,000円
- ・その他費用（環境費、雑費等） 3,263,000円

予備費 100千円

※支出合計 29,923千円－収入合計 3,525千円（諸収入、桜まつり保全金）＝26,398千円

【歳入】

ふるさとづくり基金繰入金 3,207千円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	友好交流バス事業			担当課	商工農政課	
事業実施期間	平成19年度～	款	6	項	1	目	4	
令和7年度		令和6年度			令和5年度			
予算額	決算見込額	決算額			決算額			
1,041千円	978千円	966千円			732千円			
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)							
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他	一般財源
478千円							105	373

## ○事業の目的・効果

市民が友好交流都市である福井県大野市の歴史、文化、豊かな自然と触れ合うことで、健康の増進、余暇活動の充実を図るもの。

## ○事業の内容

友好交流事業として、友好交流バス事業と友好交流宿泊助成事業を実施する。そのうち、友好交流バス事業については、友好交流都市である福井県大野市の日本一にも選ばれた星空を楽しんでもらう1泊2日の行程で実施する。

- 1 実施日 令和8年7月（予定）
- 2 募集人数 35人程度
- 3 参加費 3,000円
- 4 バス台数 1台
- 5 宿泊場所 大野市内のホテル

※宿泊代金及び体験に係る費用は自己負担とする。

なお、参加者も友好交流宿泊助成金の対象とする。

### 6 行程（案）

#### 【1日目】

岩倉市役所 → 道の駅九頭竜（昼食・休憩） → 大野市化石発掘センター（化石堀体験）  
→ 大野市内ホテル → 星空体験出発 → 福井県自然観察センター（星空体験）  
→ 大野市内ホテル

#### 【2日目】

大野市内ホテル → 大野市街地（内容は検討中） → 荒島の郷 → 岩倉市役所

## ○積算根拠

### 【歳出】

自動車借上料 373千円

大野市友好交流バス借上料 357,500円×1台=357,500円

高速道路代 11,260円×1台=11,260円

保険料 100円×35人=3,500円

友好交流宿泊助成金 105千円

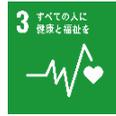
3,000円×35人=105,000円

**【歳入】**

友好交流参加者負担金 105 千円

3,000 円×35 人=105,000 円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	スマートインターチェンジ整備事業			担当課	都市整備課
事業実施期間	令和8年度～	款	7	項	2	目	2
令和7年度		令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
千円	千円	千円			千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
190,300千円	30,260		60,178	5,000	27,200		67,662

## ○事業の目的・効果

市民の高速道路へのアクセス利便性向上を図るとともに、産業振興による活力ある尾張北西部地域のまちづくりを推進するため、尾張一宮PAにスマートインターチェンジを整備するもの。

## ○事業の内容

名神高速道路一宮インターチェンジから小牧インターチェンジまでの間に、スマートインターチェンジの設置を検討するため、令和4年2月から一宮市及び岩倉市の2市協力体制のもと検討や調整などを進めてきた。その結果、令和7年12月5日に国土交通省から尾張一宮PAスマートインターチェンジ（仮称）の新規事業化が発表された。

令和8年度は、工事着手に向け、詳細設計や用地取得などに取り組む。

### 【スケジュール（予定）】

令和8年度 詳細設計、用地測量、土地評価、物件調査、土地取得、支障移転設計

令和9年度 物件調査、土地取得、物件移転補償、支障移転工事等

令和10年度以降 スマートインターチェンジ整備、付替道路・調整池工事等

## ○積算根拠

### 【歳出】

測量設計等委託料 134,607千円

詳細設計業務 一式 114,345,000円

用地測量業務 一式 20,262,000円

土地評価業務委託料 8,580千円

土地評価業務 一式 8,580,000円

物件調査業務委託料 24,101千円

物件調査業務 一式 24,101,000円

土地取得費 16,512千円

土地取得費（4人4筆 969㎡） 16,511,760円

スマートインターチェンジ支障移転設計業務負担金 6,500千円

ガス防護工事基本設計業務負担金 一式 6,500,000円

**【歳入】**

スマートインターチェンジ整備事業負担金 60,178 千円

地域連携道路事業費補助金（ICアクセス） 30,260 千円

190,299,760 円（事業費）のうち 60,521,000 円（補助基本額）

60,521,000 円（補助基本額） $\times$ 1/2（補助率） $\times$ 1.0（交付見込） $\approx$ 30,260,000 円

ふるさとづくり基金繰入金 5,000 千円

土木債 スマートインターチェンジ整備事業 27,200 千円

60,521,000 円（補助基本額） $-$ 30,260,000 円（国庫補助） $=$ 30,261,000 円（起債対象事業費）

30,261,000 円（起債対象事業費） $\times$ 90% $\approx$ 27,200,000 円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	石仏公園整備事業			担当課	都市整備課
事業実施期間	平27年度～令8年度	款	7	項	4	目	4
令和7年度		令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
721,149千円	320,985千円	279,424千円			21,254千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他
435,444千円	88,993	773		3,000	236,500	48,000	58,178

## ○事業の目的・効果

本市では、地域住民と協働による公園整備を進め、現在19か所、計5.22haの都市公園の整備を行ってきたが、市民一人当たりの面積は1.09㎡と令和5年度末の愛知県内平均8.09㎡を大きく下回っており、将来に向けた計画的な公園整備が必要となっている。

そのため、本公園の整備は、身近なレクリエーションの場としての機能だけでなく、市民一人当たりの都市公園面積の増加にも寄与する。さらに、避難地としての活用も可能とし、市域全体の防災力の強化など安全性の向上を図るものである。

## ○事業の内容

令和6年度及び7年度に管理棟の建築工事を始め、公園整備工事を行った。  
令和8年度は、令和9年度の供用開始に向け、引き続き公園整備工事を行う。

## ○積算根拠

### 【歳出】

石仏公園整備工事 435,444千円  
石仏公園整備工事（土木工事） 一式 435,443,800円

### 【歳入】

防災・安全交付金 41,639千円  
435,443,800円（事業費）のうち118,971,000円（補助基本額）  
118,971,000円（補助基本額）×1/2（補助率）×0.7（交付見込）≒41,639,000円  
社会資本整備総合交付金 47,354千円  
435,443,800円（事業費）のうち315,699,000円（補助基本額）  
315,699,000円（補助基本額）×1/2（補助率）×0.3（交付見込）≒47,354,000円  
あいち森と緑づくり都市緑化推進事業補助金 773千円  
435,443,800円（事業費）のうち773,000円（補助基本額）  
773,000円（補助基本額）×10/10=773,000円  
ふるさとづくり基金繰入金 3,000千円  
スポーツ振興くじ助成金 48,000千円  
435,443,800円（事業費）のうち60,000,000円（補助基本額）  
60,000,000円（補助基本額）×4/5（補助率）=48,000,000円

土木債 石仏公園整備事業 236,500 千円

補助分 88,993,000 円 (起債対象事業費)  $\times 90\% \div 80,000,000$  円

単独分 208,684,800 円 (起債対象事業費)  $\times 75\% \div 156,500,000$  円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	橋梁長寿命化修繕事業			担当課	維持管理課	
事業実施期間	平成24年度～年度	款	7	項	2	目	2	
令和7年度		令和6年度			令和5年度			
予算額	決算見込額	決算額			決算額			
22,559千円	16,811千円	27,799千円			48,862千円			
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)							
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他	一般財源
8,008千円	1,761							6,247

## ○事業の目的・効果

今後増大する老朽化橋梁に対応するため、橋梁長寿命化修繕計画を基に、従来の事後的な修繕及び架け替えから、予防的な修繕及び計画的な架け替えへと円滑な政策転換を図る。これにより、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架け替えにかかる費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性、信頼性を確保するもの。

## ○事業の内容

南橋、八神橋、八剣橋、長瀬橋、昭和橋、伊勢橋、真光寺橋、彦田橋、大市場橋、幼川橋の10橋について点検を行うもの。

## ○積算根拠

### 【歳出】

橋梁点検委託料 8,008千円

### 【歳入】

道路メンテナンス事業補助金 1,761千円

橋梁点検委託料

8,008,000円×5.5/10×0.4(交付見込)≒1,761,000円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	水道料金（基本料金半額） 免除事業			担当課	上下水道課
事業実施期間	令和2年度～年度	款	7	項	6	目	1
令和7年度		令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
78,532千円	77,309千円	千円			75,980千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
86,307千円	76,700						9,607

## ○事業の目的・効果

長引く物価高騰の影響を受けている市民及び事業者の支援・経営を支援するため、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、水道料金（基本料金）の半額を1年間免除するもの。

## ○事業の内容

水道を使用している市民及び事業者を対象に、基本料金の半額を計6期分（12か月分）免除するとともに、必要経費等を上水道事業会計へ繰り出すもの。

- ・北部地域：対象件数 11,000 件  
令和8年2月～令和9年1月使用分（4月検針～2月検針、5月請求分～3月請求分）
  - ・南部地域：対象件数 13,000 件  
令和8年3月～令和9年2月使用分（5月検針～3月検針、6月請求分～4月請求分）
- 合計 24,000 件

## ○積算根拠

### 【歳出】

上水道事業会計繰出金 86,307千円

水道料金（基本料金） 1,100円×1/2×24,000件×4期=52,800,000円

水道料金（基本料金） 1,210円×1/2×24,000件×2期=29,040,000円

事務費（消耗品費、案内文書配布費、システム改修費等） 4,467,000円

### 【歳入】

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 76,700千円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	上水道事業会計		事業	衛星を活用した漏水調査業務			担当課	上下水道課
事業実施期間	令和8年度		款	1	項	1	目	4
	令和7年度		令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額		決算額			決算額		
千円	千円		千円			千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)							
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他	一般財源
1,982千円								1,982

## ○事業の目的・効果

人工衛星画像解析というデジタル技術を活用することで、従来の手法と比較して調査期間の短縮とコスト削減を実現しつつ、広域かつ効率的な漏水箇所の特定を行う。これにより、漏水起因の事故防止及び有収率の向上を図るとともに、近隣事業体との共同発注によるスケールメリットを活かし、一層のコスト削減を実現することで、水道事業の基盤強化に寄与するもの。

## ○事業の内容

### 1 漏水調査手法

- (1) 人工衛星から地表に照射した反射電波を使用した衛星画像データをAIにより解析
- (2) 水道水の比誘電率の特性を利用し、地下漏水の可能性のある範囲（半径100mの円）を特定

### 2 実施方法

- (1) 近隣事業体（犬山市・丹羽広域事務組合・北名古屋水道企業団）との共同発注により実施
- (2) 丹羽広域事務組合が代表事業体となり、入札の実施、防災・安全交付金の申請（補助率1/3）等の事務を一括して行う。

### 3 費用負担

丹羽広域事務組合以外の3事業体は、以下の業務負担金と事務負担金を支払う

業務負担金：(請負額－交付金確定額) × 各事業体の管路延長比率



## ○積算根拠

### 【支出】

漏水調査（衛星）業務負担金 1,982 千円

業務負担金 1,949 千円

事務負担金 33 千円

※全体事業費 17,985,000 円

防災・安全交付金要望額  $17,985,000 \text{ 円} \times 85\% = 15,287,250 \text{ 円}$

防災・安全交付金交付額  $15,287,250 \text{ 円} \times 1/3 \doteq 5,095,000 \text{ 円}$

全体業務負担金  $17,985,000 \text{ 円} - 5,095,000 \text{ 円} = 12,890,000 \text{ 円}$

岩倉市業務負担金  $12,890,000 \text{ 円} \times 232\text{km}/1,535\text{km} \doteq 1,948,195 \text{ 円}$

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	上水道事業会計	事業	基幹管路耐震化事業			担当課	上下水道課
事業実施期間	平24年度～令13年度	款	1	項	1	目	1
令和7年度		令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
132,000千円	132,000千円	107,183千円			114,882千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
131,816千円						100,000	31,816

## ○事業の目的・効果

地震等の災害時においても、安全な水道水を安定的に供給するため、水道施設の耐震化推進が急務となっている。特に、基幹管路については、災害発生時に大規模な断水に直結するため、耐震管への更新を図ることにより、断水被害を最小限に抑え、安心して飲める良質な水を安定して供給するもの。

## ○事業の内容

平成24年度に策定した管路耐震化計画（平成24年度～令和13年度）に基づき、順次、耐震化工事を実施する。

令和8年度工事予定箇所：八劔町

### 【直近3年間の実績】

令和5年度	配水基幹管路布設工事（八劔町）	114,882千円
令和6年度	配水基幹管路布設工事（八劔町）	93,983千円
	配水基幹管路耐震化布設工事詳細設計業務	13,200千円
令和7年度	配水基幹管路布設工事（井上町）	132,000千円（見込み）

### 【基幹管路耐震化率の見込み】

令和7年度末：56.3%  
令和8年度末：58.6%

## ○積算根拠

### 【支出】

基幹管路耐震化布設工事詳細設計業務 33,836千円  
 布設替・水管橋詳細設計 L=1,600m×φ200mm 33,836,000円  
 基幹管路耐震化布設工事 97,980千円  
 φ300mm L=343.7m 97,980,000円

### 【収入】

企業債 基幹管路耐震化布設工事 80,000千円  
 97,980,000円×81.6%≒80,000,000円  
 基幹管路耐震化布設工事詳細設計業務 20,000千円  
 33,836,000円×59.1%≒20,000,000円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	上水道事業会計		事業	第4期配水管整備事業			担当課	上下水道課
事業実施期間	平29年度～令8年度		款	1	項	1	目	1
令和7年度			令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額			
千円	千円	47,114千円			59,620千円			
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)							一般財源
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他	
66,967千円						40,000		26,967

## ○事業の目的・効果

第4期配水管整備事業計画に基づき、配水管の布設替えを実施する。  
これにより、老朽化した管を耐震管に更新するとともに、安心して飲める良質な水を安定して供給することができる。

## ○事業の内容

平成28年度に策定した第4期配水管整備事業計画（平成29年度～令和8年度）に基づき、順次工事を実施する。

- 1 対象範囲  
市内全域に布設されている配水管網のうち、基幹管路を除く配水管
- 2 整備方針  
管路の重要度、更新優先度等の観点から、耐震化も踏まえた配水管の整備を行う。
- 3 工事実施状況  
平成30年度～令和6年度 岩倉団地敷地内の管路を更新  
令和7年度 工事を中止  
令和8年度 西市町（岩倉中学校南側）の更新を予定

### 【直近3年間の実績】

令和5年度 配水管布設替工事（岩倉団地敷地内） 59,620千円  
 令和6年度 配水管布設替工事（岩倉団地敷地内） 40,389千円  
 配水管布設替工事（第4期整備計画）詳細設計業務 6,725千円  
 令和7年度 未実施

## ○積算根拠

### 【支出】

配水管布設替工事（第4期整備計画）詳細設計業務委託料 10,153千円  
 川井町外2地区 φ75mm～φ150mm L=1,090m 10,153,000円  
 配水管布設替工事（第4期整備計画） 56,814千円  
 西市町 φ50mm～φ100mm L=677m 56,814,000円

【収入】

企業債 配水管布設替工事（第4期整備計画） 40,000 千円

56,814,000 円×70.4 %≒40,000,000 円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	公共下水道事業会計	事業	ストックマネジメント基本計画策定事業			担当課	上下水道課
事業実施期間	令和8年度	款	1	項	1	目	1
令和7年度		令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
千円	千円	千円			千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
19,932千円	9,900			10,032			

## ○事業の目的・効果

下水道サービスを持続的・安定的に提供するため、下水道施設を計画的かつ効率的に管理する計画を策定するもの。これにより、劣化の兆候を早期に捉え、予防保全型の管理を実施することで、重大な事故リスクを軽減することができる。

## ○事業の内容

- 1 下水道施設の現状把握  
施設の状況を客観的に把握
- 2 リスク評価  
施設の重要度に基づき、事故発生時の被害規模（影響度）の検討
- 3 優先順位の設定  
施設の重要度や劣化状況に基づき、対策の優先順位を決定
- 4 点検・調査計画の策定  
優先順位に基づいた効率的な点検・調査計画を作成

## ○積算根拠

### 【支出】

ストックマネジメント基本計画策定業務委託料 19,932千円

### 【収入】

他会計補助金（一般会計繰出金） 10,032千円

防災・安全交付金 9,900千円

19,932,000円×1/2≒9,900,000円

## 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	公共下水道事業会計	事業	管路施設耐震化事業			担当課	上下水道課
事業実施期間	令和8年度	款	1	項	1	目	1
	令和7年度		令和6年度			令和5年度	
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
千円	千円	千円			千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
18,458千円	9,200			9,258			

### ○事業の目的・効果

地震等の災害時においても、従前どおりの水の使用を可能とするためには、下水道機能の確保が重要である。避難所などの重要施設につながる下水道管路の耐震化を計画的に進め、災害時における主要施設のインフラ機能維持を目指すもの。

### ○事業の内容

災害に強く持続可能な下水道システムの構築に向け、上下水道耐震化計画に基づき、以下の作業を実施する。

- 1 耐震性能評価  
管きよ及び付帯構造物等の耐震性能を評価
- 2 耐震化必要性の調査診断  
地震動に対する健全性を評価（基礎沈下、液状化、マンホール浮上等の有無を判断）
- 3 対策の優先順位付け  
被害リスクの高い箇所を特定し、耐震化対策の優先順位を決定

### ○積算根拠

#### 【支出】

管路施設耐震診断業務委託料 18,458千円

#### 【収入】

他会計補助金（一般会計繰出金） 9,258千円

防災・安全交付金 9,200千円

18,458,000円×1/2≒9,200,000円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	公共下水道事業会計	事業	五条川右岸公共下水道建設事業			担当課	上下水道課
事業実施期間	年度～ 年度	款	1	項	1	目	1
令和7年度		令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
744,136千円	723,815千円	621,058千円			650,482千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
769,503千円	231,800	1	20,955	31,647	485,100		

## ○事業の目的・効果

公共下水道を整備することにより、側溝、用排水路、河川の水質改善が図られ、快適で住みよいまちづくりを実現する。また、水環境の浄化により豊かな生態系を取り戻すことができる。

## ○事業の内容

五条川左岸公共下水道事業については、平成12年度に整備が完了し、計画区域156.8haの全区域が供用開始されている。

五条川右岸公共下水道事業については、平成6年度に下水道法事業認可を受け、工事に着手し、平成13年4月1日に一部供用開始した。令和7年4月1日現在の進捗状況は、都市計画決定区域436haの内305.7haを供用開始し、五条川右岸の人口普及率は、70.5%となっている。

五条川右岸整備面積は、令和5年度10.1ha、令和6年度4.6ha、令和7年度10.7ha。今後も、計画的に下水道整備区域を拡大する。

令和8年度は、石仏町、大地町、下本町、中本町地区で10.5haの面整備（開削L=2,895m）を行う。

## ○積算根拠

### 【支出】

公共下水道実施設計委託料 106,754千円（補助対象基本額71,000,000円）  
 管渠布設工事 462,042千円（補助対象基本額392,600,000円）  
 舗装工事 20,830千円  
 取付管設置工事 54,880千円  
 公共汚水ます等設置工事 27,690千円  
 支障物件移転補償費 97,307千円

### 【収入】

公共下水道事業受益者負担金 20,955千円  
 社会資本整備総合交付金（国費） 231,800千円  
     委託費 71,000,000円（補助基本額）×1/2=35,500,000円  
     工事費 392,600,000円（補助基本額）×1/2=196,300,000円  
 市町村下水道事業費補助金（県費） 1千円  
 他会計補助金（一般会計繰出金） 31,647千円

公共下水道事業債（企業債） 485,100 千円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	第2期教育振興基本計画 策定事業			担当課	学校教育課
事業実施期間	令和7年度～8年度	款	9	項	1	目	2
令和7年度		令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
665千円	488千円	千円			千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
285千円							285

## ○事業の目的・効果

平成29年3月に策定した岩倉市教育振興基本計画は、計画期間を平成29年度から令和8年度までの10年間とし、「人がまちをつくり まちが人を育む ～学びあい つながり 響きあうまち いわくら～」を基本理念に掲げ、各種教育施策を推進してきた。本計画に掲げた施策及び具体的な取組内容ごとに、毎年度、点検・評価を行い、その結果を次年度に反映させるとともに広く公表し、本市の目指す教育の実現に向けた取組を進めてきた。

国、愛知県の動向や変化する社会情勢、これまで推進してきた本計画の進捗状況から見る現状・課題等を踏まえ、本計画の基本理念や本市が目指す教育目標を継承し発展させるため、今後10年間で取り組むべき施策を明らかとする第2期計画を策定するもの。

## ○事業の内容

本計画は、教育基本法第17条第2項に基づいて策定する、本市における教育振興のための施策に関する基本的な計画である。また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に基づき地方公共団体に策定が義務付けられている、地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱として本市で策定している岩倉市教育大綱との整合を図りながら、策定するもの。

### 【スケジュール】

令和7年度 現状や課題の整理を行うため、アンケート調査を実施・分析し、その結果を推進委員会で協議する。

令和8年度 各分野別に部会を開き、検討を進め、計画を策定する。

## ○積算根拠

### 【歳出】

教育振興基本計画推進委員会委員報酬 285千円

委員（識見者） 20,000円×2人×3回＝120,000円

委員 5,000円×11人×3回＝165,000円

※委員20人のうち7人は学校関係者

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	五条川小学校本館大規模改修事業			担当課	学校教育課
事業実施期間	令和8年度～9年度	款	9	項	2	目	1
令和7年度		令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
千円	千円	千円			千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
14,047千円				14,000			47

## ○事業の目的・効果

老朽化した五条川小学校本館の大規模改修工事を行う。これにより教育環境の向上を図るもの。

## ○事業の内容

### 【主な改修内容】

- ・教室 床改修、壁塗装、鋼製間仕切改修、黒板・ロッカー改修
- ・廊下 床改修、壁塗装、手洗改修
- ・階段室 床・ノンスリップ改修、壁塗装
- ・便所 洋式・乾式化・トイレブース・給排水設備改修、多目的トイレ新設
- ・外壁 高圧洗浄、下地補修、シーリング、吹付塗装、手摺・庇塗装
- ・その他 屋上防水、高架水槽等取替

### 【スケジュール】

- 令和8年度 設計業務
- 令和9年度 本館工事・監理業務

## ○積算根拠

### 【歳出】

五条川小学校本館大規模改修工事設計委託料 14,047千円

### 【歳入】

公共施設整備基金繰入金 14,000千円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	岩倉東小学校北館・南館 大規模改修事業			担当課	学校教育課
事業実施期間	令和8年度～10年度	款	9	項	2	目	1
令和7年度		令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
千円	千円	千円			千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
16,984千円				16,000			984

## ○事業の目的・効果

老朽化した岩倉東小学校北館及び南館の大規模改修工事を行う。これにより教育環境の向上を図るもの。

## ○事業の内容

### 【主な改修内容】

- ・教室 床改修、壁塗装、鋼製間仕切改修（南館）、黒板・ロッカー改修
- ・廊下 床改修、壁塗装、手洗改修
- ・階段室 床・ノンスリップ改修、壁塗装
- ・便所 洋式・乾式化・トイレブース・給排水設備改修、多目的トイレ新設
- ・外壁（北館） 高圧洗浄、下地補修、シーリング、吹付塗装、手摺・庇塗装
- ・その他 屋上防水（北館）、高架水槽等取替

### 【スケジュール】

- 令和8年度 設計業務
- 令和9年度 北館工事・監理業務
- 令和10年度 南館工事・監理業務

## ○積算根拠

### 【歳出】

岩倉東小学校北館・南館大規模改修工事設計委託料 16,984千円

### 【歳入】

公共施設整備基金繰入金 16,000千円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	水泳指導支援委託事業			担当課	学校教育課	
事業実施期間	令和元年度～年度	款	9	項	2	目	2	
令和7年度		令和6年度			令和5年度			
予算額	決算見込額	決算額			決算額			
14,861千円	13,645千円	13,166千円			13,169千円			
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)							
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他	一般財源
18,750千円								18,750

## ○事業の目的・効果

令和元年度に策定した「小中学校プールのあり方」では、小学校については大規模改修時までは各学校のプールを使用し、その後は、順次、民間プール施設の活用への切り替えを基本に検討することとしている。中学校については、部活動等に考慮し、計画的な修繕や場合によっては改築しプールを維持していく方針としている。

これまで、屋内運動場等複合施設の建設のためプールを取壊した岩倉北小学校を始め、大規模なプール改修が必要となった岩倉東小学校、五条川小学校、曾野小学校の水泳授業を民間の温水プールにおいて、指導を含めた委託をしている。

これにより、天候に左右されず授業の実施が可能となり、教職員に加えて複数の指導者が子どもたちに関わることで、よりきめ細かな指導を行うことができ、泳力の向上が期待できる。

令和8年度からは、岩倉南小学校もプールの大規模な改修が必要になったため、水泳授業を民間の温水プールを利用し実施する。

## ○事業の内容

通常、年度の水泳の授業時間は10単位時間（1単位時間45分授業）必要であるが、1単位時間中には、着替え等を含めるため30分程度の指導になっている。そのため、2単位時間分（30分+30分）を連続で実施することで実際の水泳指導を1回60分、着替え等を含めた実施時間を120分とし、1人当たり5回、温水プールを利用する。

なお、温水プールまでの送迎については、委託事業者の送迎車両を利用する。

### 【実施校】

岩倉東小学校（令和元年度から実施）

岩倉北小学校（令和3年度から実施）

五条川小学校（令和4年度から実施）

曾野小学校（令和5年度から実施）

岩倉南小学校（令和8年度から実施）

※令和2、3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により水泳授業を中止。

### 【実施時間例】

時限	1	放課	2	放課
時間	8:45～9:30	9:30～9:40	9:40～10:25	10:25～10:45
実施時間	8:45～10:45（うち指導時間60分）			

## ○積算根拠

### 【歳出】

水泳指導支援業務委託料 18,750 千円

岩倉北小学校

770 円/単位時間×2 単位時間×5 回×721 人=5,551,700 円

※1年生から6年生まで 721 人で積算（送迎車両利用含む。）

岩倉南小学校

770 円/単位時間×2 単位時間×5 回×532 人=4,096,400 円

※1年生から6年生まで 532 人で積算（送迎車両利用含む。）

岩倉東小学校

770 円/単位時間×2 単位時間×5 回×178 人=1,370,600 円

※1年生から6年生まで 178 人で積算（送迎車両利用含む。）

五条川小学校

770 円/単位時間×2 単位時間×5 回×476 人=3,665,200 円

※1年生から6年生まで 476 人で積算（送迎車両利用含む。）

曾野小学校

770 円/単位時間×2 単位時間×5 回×528 人=4,065,600 円

※1年生から6年生まで 528 人で積算（送迎車両利用含む。）

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	学校給食費支援事業			担当課	学校教育課
事業実施期間	令和7年度～	款	9	項	6	目	1
	令和7年度		令和6年度			令和5年度	
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
26,645千円	26,645千円	千円			千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他
32,240千円	32,240						

## ○事業の目的・効果

令和8年4月からの国の学校給食費の抜本的な負担軽減事業（いわゆる給食無償化）の開始に伴い、小学校では国・県の補助金に加えて本市独自に補助基準額との差額を補填することで無償化を実現し、中学校においても物価高騰による増額分を公費負担することで、児童生徒の栄養バランスを維持した給食を提供し、保護者の経済的負担を軽減するもの。

## ○事業の内容

食材費の高騰を受け、令和8年4月から給食費の単価を小学校340円、中学校380円に改定した上で、以下の支援を行う。

- 1 小学校給食費の無償化支援  
公立学校給食費負担軽減補助金（国1／2、県1／2負担）の補助基準額（57,200円／年<sup>※1</sup>）と、本市給食費（63,240円／年<sup>※2</sup>）との差額（1食当たり32.48円<sup>※3</sup>）を市が負担する。
- 2 中学校給食費の負担軽減支援  
改定後の単価（380円）と現行の保護者負担額との差額（1食当たり80円）を市が負担する。

※1 公立学校給食費負担軽減補助金  
5,200円×11月＝57,200円／年

※2 令和8年度本市給食費  
340円／食×186食＝63,240円／年

※3 令和8年度児童1人1食当たり支援額  
63,240円－57,200円＝6,040円  
6,040円÷186食＝32.48円／食

## ○積算根拠

### 【歳出】

賄材料費 32,240千円  
 小学校 32.48円×2,435人×186食＝14,710,517円  
 中学校 80円×1,178人×186食＝17,528,640円

### 【歳入】

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 32,240千円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	学校給食応援事業			担当課	学校教育課	
事業実施期間	令和8年度～	款	9	項	6	目	1	
令和7年度		令和6年度			令和5年度			
予算額	決算見込額	決算額			決算額			
千円	千円	千円			千円			
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)							
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他	一般財源
2,334千円				2,333				1

## ○事業の目的・効果

児童生徒にとって思い出に残る魅力的な学校給食を提供するため、令和7年度から、ふるさとといわくら応援寄附金のメニューとして設定した「学校給食の応援」への寄附金を活用する。お寄せいただいた寄附金を学校給食応援基金に積み立て、計画的に運用することで、通常の給食費だけでは実施が難しい献立の充実や食育の推進を図り、子どもたちの食への関心と満足度を向上させるもの。

## ○事業の内容

児童生徒や保護者のニーズを反映し、思い出に残る魅力ある給食を提供する。令和8年度は、特に人気が高く各学期に1回（年間3回）実施しているセレクト給食について、寄附金を活用して選択するデザート等を特別感があるものとするなど、献立内容の充実を図る。

## ○積算根拠

### 【歳出】

賄材料費 2,334千円

セレクト給食 200円×3,889人×3回=2,333,400円

### 【歳入】

学校給食応援基金繰入金 2,333千円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	部活動地域連携・地域展開推進事業			担当課	学校教育課 生涯学習課	
事業実施期間	令和5年度～年度	款	9 9 9	項	3 4 5	目	2 3 1	
令和7年度		令和6年度			令和5年度			
予算額	決算見込額	決算額			決算額			
4,952千円	4,841千円	2,469千円			1,049千円			
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)							
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他	一般財源
9,733千円		4,019			1,500			4,214

## ○事業の目的・効果

急激な少子化が進む中、将来にわたって生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動の機会を確保・充実できるよう、学校単位で行ってきた部活動を地域全体で支える体制を構築することにより、豊かで幅広い活動機会の保障を目指すもの。

## ○事業の内容

令和5年度に設置した「岩倉市部活動検討懇談会」において、地域連携・地域展開に向けての検討を進め、令和6年2月に「中学校部活動の地域連携・地域展開推進計画」を策定（令和7年5月改訂）した。

本市の部活動については、部活動の指導者を教員から地域人材へと比重を移すことと、中学生の活動の場を学校教育から社会教育へ拡充することを軸に地域連携・地域展開を進めるもので、具体的な取り組みは以下のとおりとする。

- 1 競技に精通し、生徒への指導経験が豊富で単独で引率のできる部活動指導員を配置する。
- 2 顧問による技術的指導を補う部活動指導サポーターを配置する。
- 3 吹奏楽部の技術的指導の一部を市民吹奏楽団に委託する。

令和8年度は、地域クラブ活動総括コーディネーター※を配置し、中学校部活動の地域展開を促進し、地域のスポーツ・文化環境の充実を図り、令和10年度までに、休日の部活動の全てを地域展開することを目指す。

運動部については、その受け皿を岩倉スポーツクラブが担うことができるよう体制の整備を進め、文化部については、吹奏楽部の練習の支援を市民吹奏楽団に委託する。

地域展開するまでの間の学校部活動については学校教育課、地域展開の推進に係る業務及び地域クラブの活動については生涯学習課が主となり、連携を図りながら事業を進めていく。

### ※地域クラブ活動総括コーディネーター

中学校部活動の地域展開に向けた状況把握、中学校部活動の地域展開の受け皿となる岩倉スポーツクラブの体制強化の支援、土日の中学校部活動の地域展開の支援などを行う。

## ○積算根拠

### 【歳出】

会計年度任用職員報酬 4,595千円

部活動指導員  $1,939円 \times 11時間 \times 45週 \times 2人 = 1,919,610円$

地域クラブ活動総括コーディネーター  $1,728円 \times 6時間 \times 258日 \times 1人 = 2,674,944円$

期末勤勉手当 1,037千円

共済費 587千円

部活動指導員ホーター謝礼 3,000千円

$3,000円 \times 1,000回 = 3,000,000円$

費用弁償 110千円

部活動指導員 通勤費 76,000円

出張費  $1,000円 \times 5回 \times 2人 = 10,000円$

地域クラブ活動総括コーディネーター 通勤費 24,000円

市民吹奏楽団部活動指導委託料 140千円

部活動連絡共有アプリ利用料 264千円

$880円 \times 300人 = 264,000円$

### 【歳入】

部活動指導員配置事業費補助金 962千円

$1,600円(上限額) \times 11時間 \times 45週 \times 2人 \times 2/3(補助率) \times 0.91(交付見込) \approx 962,000円$

部活動地域展開・地域クラブ活動推進事業費補助金 3,057千円

(4,321,652円(地域クラブ活動総括コーディネーター報酬等)

$+264,000円(部活動連絡共有アプリ利用料)) \times 2/3 \approx 3,057,000円$

ふるさとづくり基金繰入金 1,500千円

# 令和8年度予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	史跡公園開園30周年記念事業			担当課	生涯学習課	
事業実施期間	令和8年度	款	9	項	4	目	4	
令和7年度		令和6年度			令和5年度			
予算額	決算見込額	決算額			決算額			
千円	千円	千円			千円			
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)							
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他	一般財源
770千円								770

## ○事業の目的・効果

史跡公園の開園30周年を祝うとともに、市民の皆さんに大地遺跡を知ってもらう機会を提供する。展示や体験を通して歴史に触れることで、岩倉市の歴史への関心を深め、郷土への愛着を高めることを目的とする。

## ○事業の内容

史跡公園で開園30周年記念イベントを開催する。鳥居建民家内で大地遺跡講演会、公園内でワークショップ等を開催し、昔の暮らしを知り、体験する機会を提供する。また、3町の山車保存会と協働でスタンプラリーを開催し、岩倉街道を中心に各山車庫や史跡をまわって、岩倉の文化や文化財に触れてもらう。

具体的な内容は以下のとおり。

- 1 (仮称) 大地遺跡講演会 (場所：鳥居建民家内)  
1日2回、同じ内容で、各回先着40人
- 2 展示 (場所：堅穴住居内)  
大地遺跡に関するパネル展示
- 3 ワークショップ (場所：園内)  
参加者には以下の体験を提供
  - (1) 勾玉づくり
  - (2) 弥生時代の衣装体験
  - (3) 大地式土器をデザインした布製品づくり
- 4 スタンプラリー (場所：園内・3町の山車庫・岩倉城址・図書館3階郷土資料室等)  
岩倉街道を中心に各山車庫や史跡をめぐるスタンプラリーを実施する。ゴールは史跡公園とし、参加者には文化遺産カードを配布する。

## ○積算根拠

### 【歳出】

史跡公園30周年記念事業委託料 770千円  
 講演講師謝金 (2回) 55,000円  
 文化遺産カード製作 (5種・各500枚) 152,680円  
 スタッフ人件費 1,320円×8時間×7人=73,920円  
 パネル作成費 60,500円

ワークショップ材料費	181,500 円
スタンプラリー消耗品費	48,400 円
諸経費	198,000 円

令和8年度当初予算に係る新規及び主要事業説明資料



会計名	一般会計	事業	石仏公園内屋外スポーツ施設スマートロック整備事業			担当課	生涯学習課
事業実施期間	令和8年度	款	9	項	5	目	2
令和7年度		令和6年度			令和5年度		
予算額	決算見込額	決算額			決算額		
千円	千円	千円			千円		
令和8年度 予算額	財 源 内 訳 (単位：千円)						
	国庫 支出金	県支出金	使用料・ 手数料	分担・負 担金	繰入金	地方債	その他 一般財源
1,436千円	717						719

○事業の目的・効果

令和9年度の石仏公園の開園にあわせ、球場とサッカーグラウンドに使用料を設定し一般開放することに伴い、スマートロック（予約システムと連携したパスワードで開錠する電子錠）を導入するもの。これにより、予約から支払い、鍵の開錠・施錠までを一連の流れで行うことができ、利用者の利便性を向上させることが可能となる。

○事業の内容

石仏公園内の管理棟にスマートロック付きキーボックスを整備し、球場とサッカーグラウンドの鍵を管理するとともに、予約システムと連携させる。

○積算根拠

【歳出】

- 通信回線使用料 6千円
- Wi-Fi回線使用料 5,500円×1月=5,500円
- 備品購入費 1,430千円
- スマートロック（設置費込み） 286,000円×5台=1,430,000円

【歳入】

- 地域未来交付金 717千円
- 1,435,500円×1/2≒717,000円